

2018年9月吉日

各位

中越パルプ工業株式会社
代表取締役社長 加藤 明美

「中越エコプロダクツ株式会社」設立のご案内

このたび、当社は、株式会社環境経営総合研究所と合弁で「中越エコプロダクツ株式会社」を本社工場のある富山県高岡市に設立いたしました。

中越エコプロダクツ株式会社は、株式会社環境経営総合研究所が独自の特許と技術を駆使して開発した100%プラスチックに代わる新素材「マップカ (MAPKA®)」シートを製造する会社です。

マップカとは、51%以上の紙パウダーと合成樹脂とを混合したプラスチックでも紙でもない素材でありながら、従来のプラスチック容器と同等の機能を持つ新しい製品です。

今回の合弁事業は、製紙会社である当社がマップカの主原料となる紙を安定した品質で生産・供給し、株式会社環境経営総合研究所の紙パウダーを作る技術、合成樹脂との混合技術を利用して中越エコプロダクツ株式会社がマップカシートを製造するというものです。

中越エコプロダクツ株式会社が製造したマップカシートの販売は、株式会社環境経営総合研究所が一手に引き受けて食品向けトレーを用途とする分野へ展開を図ってまいります。

近年、EU、アメリカ、中国をはじめ世界各国において「使い捨てプラスチック」の環境に与える負荷、マイクロプラスチック問題に始まる海洋汚染、埋め立てによる土壌汚染、水質汚染などの問題がクローズアップされ、国を挙げての使用規制や禁止、さらにはリサイクルの観点からの取り組みが始まっています。

当社と株式会社環境経営総合研究所は、日本国内においても早急なる国際基準での対応が求められていると考え、このマップカを本都合弁事業において日本発オンリーワンの新素材として富山県から世界に向けて拡げて行くことを決断いたしました。

マーケットとしては、国内の大手食品流通を中心に、コンビニエンスストア、スーパーマーケット、宅配弁当、介護食弁当等の使い捨てプラスチックトレーの代替品となりますが、日本の優秀な食品を海外に輸出する企業にも、日本独自のエコトレーとして用途を拡大していく所存です。

最大55%が紙パウダー、45%が合成樹脂で構成されているマップカは、紙でもプラスチックでもない素材でありながらプラスチック同様に成型することができるうえに、食品衛生法への対応や電子レンジでの耐久性など安全性、機能性の検証を得ています。

マップカ最大の特徴は、石油由来の資源の使用を大幅に削減することが可能になることです。地球温暖化や酸性化といったライフ・サイクル・アセスメントにおいても環境性能の高い製品ですので、食品トレーを大量にご使用になる方には、広くご支持いただけるものと確信しております。

当社は、今後もこの合弁事業の他、さらなる事業展開を図り、技術革新によるイノベーションの基盤拡大、生産から消費に至る作る側の責任、地球温暖化対策、海の豊かさや水資源を守り、森林資源の持続可能な活用の推進、官民相互のパートナーシップの推進など経済、社会、環境の側面から持続可能な開発へ向けた取り組み(SDGs)を推進してまいります。



中越パルプ工業株式会社



株式会社環境経営総合研究所